

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

高齢化率の高い地域であることに加えて、複合的な生活課題が抱えた方も多く住まわれている地域である。また、地域住民による主体的な見守り活動や支援が期待されているが、地域の担い手不足が顕著である。そのような地域であるため、地域団体や福祉施設、専門機関とのネットワークの構築を強固にし、連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	地域福祉保健計画の地区別計画第4期振り返りおよび第5期計画への更新にあたり、推進母体の支えあい連絡会とそのコア会議を事務局としてサポートし、住民と共に地域ニーズに応じた計画を作り上げる。
☒	☐	近隣の福祉施設との連携を充実させるために、定期的な意見交換の場を新たに設け、施設の地域貢献活動をサポートする。 地域住民と福祉施設とのコーディネート役をケアプラザが務め、気軽に訪問し合い、ボランティアに参加できるような関係づくりを進める。その一環として11月には、地域内の施設と共同で地域住民との交流事業を開催する。
☒	☐	地域ケア会議（個別・包括レベル）を充実させていく。多角的な視点をもてるよう、協力医、精神科医、その他専門職、協賛店、地域の方々から地域のニーズを収集し、特に困難事例の解決に向けて取り組んでいく。
☒	☐	この地域では、子どもの割合は少ないが、そんな中であっても、支援が必要な子供がいることを把握している。子どもの居場所ミーティング等を活用し、地域の課題と、それに対する支援の取り組みを検討していく。
☒	☐	業務過多となっている職員が増えてきている傾向がある。働きやすい職場環境と効率よく業務をこなすためのスキルアップについて、職員それぞれの目標管理を整え、毎月行っている職員研修の充実と、その他必要な研修があれば、部署ごとで研修に取組んだり、外部研修やICTなどを積極的に取り入れて行っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

○公職選挙の投票所となった衆議院選挙と横浜市長選では、どちらも1000人前後の方々が来館し、多くの方々が掲示板等を見ていただいたり、配架物を持って帰っていただき、ケアプラザを知っていただく良い機会となった。
○近隣の福祉施設を地域資源として捉え、定期的に情報交換を行い、各施設の強みを把握し、構築した関係を生かして、地域ニーズとのマッチングも意識しながら連携をした。
○職員の急な退職により一時的ではあるが、一部の者に業務が集中する状況となってしまった、しかし行政の助けや、互いに声を掛け合い、役割を補い合うチームワークによって、必要なサービス提供が滞ることなく、行うことが出来た。

☐ 区からのコメント

投票所となった機会をとらえ、広報等が行われていることを評価しています。
また、一時期は体制等に不安定な部分が見られましたが、区役所と連携し、対応してくださっていると感じました。
安定的な施設運営を行うため、職員を人的資本と捉え、所長のリーダーシップのもと、相談体制の整備や人材育成の取組を進め、職員一人ひとりが働きやすい職場環境の更なる改善に努めてください。

令和7年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	マニュアルやダブルチェックシートが効果的に運用されるよう、事故防止及び個人情報保護研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。
実績	住民や利用者が主体的に必要な社会資源・サービスを選択できるよう、情報提供に努めた。特にインフォーマルサービスに関する情報提供に力点を置いて行なった。	個人情報保護に関する職員研修を、福祉保健課から提供いただいたパワーポイントを用いて職員全員に向けて研修を実施、個人情報に関わる情報をFAX送信する場合は2人でFAX機を操作するなどダブルチェックを徹底した。個人情報を所内から持ち出す場合は管理台帳にて管理、事故防止に努めた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるように計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー専従1名	ケアマネジャー2名(うち管理者兼務1名)
契約者数	179	802

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00～16:10 【定員】40名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

利用 料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:706円 要介護2:833円 要介護3:965円 要介護4:1,097円 要介護5:1,231円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者ケア体制加算:48円 若年性認知症利用者受入加算:64円 サービス提供体制加算Ⅱ:19円 処遇改善加算Ⅰ(おおよそ(基本額+加算額)×9.2%) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 要支援1:1,928円 要支援2(週1回):1,792円 要支援2(週2回):3,882円 ●その他利用料(1ヶ月分) サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:78円、週2回:155円) 処遇改善加算Ⅰ(週1回:185、週2回:371) ●その他利用料(1回分) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50～100円	【その他料金】	【その他料金】
職員 体制	・管理者兼相談員1名 ・相談員2名以上(介護職兼務含) ・機能訓練指導員3名以上 ・看護師3名以上 ・介護士10名以上(相談員兼務含) ・厨房4名以上 ・ドライバー3名以上		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 8,688人 【契約者数】 23人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,232,114	2,489,500	19,721,614	18,534,443	1,187,171	横浜市より
内 受領額	17,232,114	2,489,500	19,721,614	19,721,614	0	
内 戻入額				△ 1,187,171	1,187,171	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	40,000	40,000	40,400	△ 400	
雑入	0	4,195	4,195	4,195	0	
内 印刷代	0		0	0	0	
内 自動販売機手数料	0		0	0	0	
内 その他	0	4,195	4,195	4,195	0	
その他	4,046,000		4,046,000	0	4,046,000	
収入合計	21,278,114	2,533,695	23,811,809	18,579,038	5,232,771	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,583,431	186,000	12,769,431	11,517,841	1,251,590	法人本部経費は含まれていません。
内 本俸	10,000,000	186,000	10,186,000	10,033,817	152,183	
内 社会保険料	2,000,000		2,000,000	1,134,527	865,473	
内 手当計	0		0	0	0	
内 健康診断費	20,000		20,000	9,211	10,789	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
内 退職給付引当金繰入額	250,000		250,000	156,990	93,010	
内 その他	313,431		313,431	183,296	130,135	
事務費	2,045,000	4,195	2,049,195	1,102,786	946,409	法人本部経費は含まれていません。
内 旅費	20,000		20,000	3,788	16,212	
内 消耗品費	400,000		400,000	161,102	238,898	
内 会議随い費	20,000		20,000	0	20,000	
内 印刷製本費	150,000		150,000	142,912	7,088	
内 通信費	400,000		400,000	242,164	157,836	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
内 内 その他	0		0	0	0	
内 備品購入費	500,000		500,000	129,654	370,346	
内 図書購入費	30,000		30,000	0	30,000	
内 施設賠償責任保険	0		0	0	0	
内 職員等研修費	100,000		100,000	0	100,000	
内 振込手数料	2,000		2,000	4,054	△ 2,054	
内 リース料	20,000		20,000	92,162	△ 72,162	
内 手数料	2,000		2,000	1,320	680	
内 地域協力費	0		0	24,675	△ 24,675	
内 公租公課	351,000	0	351,000	0	351,000	法人本部経費は含まれていません。
内 事業所税	100,000		100,000	0	100,000	
内 消費税	100,000		100,000	0	100,000	
内 印紙税	100,000		100,000	0	100,000	
内 その他	51,000		51,000	0	51,000	
内 その他	50,000	4,195	54,195	300,955	△ 246,760	
事業費	550,000	40,000	590,000	392,013	197,987	法人本部経費は含まれていません。
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000	40,000	540,000	392,013	147,987	
内 その他	50,000		50,000	0	50,000	
管理費	5,625,683	0	5,625,683	5,221,556	404,127	法人本部経費は含まれていません。
内 光熱水費	4,822,683		4,822,683	0	4,822,683	
内 清掃費	35,000		35,000	0	35,000	
内 機械整備費	180,000		180,000	0	180,000	
内 設備保全費	580,000	0	580,000	0	580,000	
内 空調衛生設備保守	500,000		500,000	0	500,000	
内 消防設備保守	0		0	0	0	
内 電気設備保守	0		0	0	0	
内 害虫駆除清掃保守	30,000		30,000	0	30,000	
内 駐車場設備保全費	0		0	0	0	
内 その他保全費	50,000		50,000	0	50,000	
内 共益費	0		0	0	0	
内 その他	8,000		8,000	5,221,556	△ 5,213,556	
修繕費	474,000	2,303,500	2,777,500	2,777,500	0	予算：指定額
太陽光パネル保守点検	0		0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0	0	0	
その他	0		0	0	0	法人本部経費は含まれていません。
内			0	0	0	
支出合計	21,278,114	2,533,695	23,811,809	21,011,696	2,800,113	
差引	0	0	0	△ 2,432,658	2,432,658	

自主事業費 収入	0	40,000	40,000	40,400	△ 400	
自主事業費 支出	500,000	40,000	540,000	392,013	147,987	
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 351,613	△ 148,387	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
--------------------	---	---	---	---	---	----------------------

令和7年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部

(単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】		25,147,376	312,000	25,459,376	24,153,325	1,306,051	横浜市より
内訳	内 受領額	25,147,376	312,000	25,459,376	25,459,376	0	
	訳 戻入額				△ 1,306,051	1,306,051	
指定管理料【介護予防】		154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】		30,000	0	30,000	30,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】		6,150,623	30,000	6,180,623	6,180,623	0	横浜市より
内訳	内 受領額	6,150,623	30,000	6,180,623	6,180,623	0	
	訳 戻入額				0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】		0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】		0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】		0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】		0		0	0	0	
雑入		0	0	0	0	0	
内訳	内 印刷代	0		0	0	0	
	訳 自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他		0		0	0	0	
その他		290,000		290,000	0	290,000	
収入合計		31,771,999	342,000	32,113,999	30,517,948	1,596,051	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費		25,478,999	342,000	25,820,999	20,428,912	5,392,087	法人本部経費は含まれていません。	
内訳	本俸	18,000,000	342,000	18,342,000	17,390,036	951,964		
	社会保険料	5,000,000		5,000,000	2,806,156	2,193,844		
	手当計	1,000,000		1,000,000	0	1,000,000		
	健康診断費	20,000		20,000	12,720	7,280		
	勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど	
	退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	220,000	280,000		
	その他	958,999		958,999	0	958,999		
	事務費	3,402,000	0	3,402,000	4,003,084	△ 601,084	法人本部経費は含まれていません。	
内訳	旅費	100,000		100,000	24,160	75,840		
	消耗品費	300,000		300,000	91,356	208,644		
	会議開い費	10,000		10,000	7,414	2,586		
	印刷製本費	300,000		300,000	237,840	62,160		
	通信費	300,000		300,000	269,313	30,687		
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0		
	内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0		
		その他	0		0	0	0	
	備品購入費	800,000		800,000	179,579	620,421		
	図書購入費	100,000		100,000	0	100,000		
	施設賠償責任保険	0		0	0	0		
	職員等研修費	500,000		500,000	11,020	488,980		
	振込手数料	2,000		2,000	3,850	△ 1,850		
	リース料	40,000		40,000	148,788	△ 108,788		
	手数料	100,000		100,000	2,479,785	△ 2,379,785	人材紹介料等	
	地域協力費	0		0	7,933	△ 7,933		
	公租公課	350,000	0	350,000	0	350,000		
	内 事業所税	100,000		100,000	0	100,000		
		内 消費税	100,000		100,000	0	100,000	
		訳 印紙税	100,000		100,000	0	100,000	
その他		50,000		50,000	0	50,000		
その他		500,000		500,000	542,046	△ 42,046		
事業費	1,286,000	0	1,286,000	675,674	610,326	法人本部経費は含まれていません。		
内訳	協力医	630,000		630,000	483,000	147,000		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000	15,363	336,637		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	30,000		30,000	0	30,000		
	自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	120,000		120,000	23,311	96,689		
	その他	0		0	0	0		
管理費	1,479,000	0	1,479,000	1,388,004	90,996	法人本部経費は含まれていません。		
内訳	光熱水費	1,260,000		1,260,000	1,021,000	239,000		
	清掃費	10,000		10,000	0	10,000		
	機械整備費	50,000		50,000	46,104	3,896		
	設備保全費	153,000	0	153,000	139,488	13,512		
	内 空調衛生設備保守	130,000		130,000	125,736	4,264		
		内 消防設備保守	0		0	0	0	
		内 電気設備保守	0		0	0	0	
		訳 害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	7,762	2,238	
		駐車場設備保全費	0		0	0	0	
	その他保全費	13,000		13,000	5,990	7,010		
	共益費	0		0	0	0		
	その他	6,000		6,000	181,412	△ 175,412		
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	法人本部経費は含まれていません。		
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません。		
内	0		0	0	0			
支出合計	31,771,999	342,000	32,113,999	26,621,674	5,492,325			
差引		0	0	0	3,896,274	△ 3,896,274		

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	656,000	0	656,000	192,674	463,326
自主事業 収支	△ 656,000	0	△ 656,000	△ 192,674	△ 463,326

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,400	3,000	2,400	7,400	5,100	2,300	14,000	12,100	1,900	100,000	88,800	11,200	4,000	4,050	-50
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計(A)	5,400	3,000	2,400	7,400	5,100	2,300	14,000	12,100	1,900	100,000	88,800	11,200	4,000	4,050	-50
支出	人件費	500	2,000	-1,500	500	2,000	-1,500	12,000	9,000	3,000	74,000	77,000	-3,000	3,000	3,100	-100
	事務費	2,800	0	2,800	4,500	0	4,500	1,500	100	1,400	10,000	12,000	-2,000	500	580	-80
	事業費	400	0	400	500	0	500	25	500	-475	13,000	9,900	3,100	500	450	50
	管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1,700	1,900	-200	1,900	2,200	-300	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,700	1,900	-200	1,900	2,200	-300	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出合計(B)	5,400	3,900	1,500	7,400	4,200	3,200	13,525	9,600	3,925	97,000	98,900	-1,900	4,000	4,130	-130
収支 (A) - (B)		0	-900	900	0	900	-900	475	2,500	-2,025	3,000	-10,100	13,100	0	-80	80

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業報告書

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	ひかりが丘 介護者のつどい 銀倶楽部 (毎月)	平成22年度	2:地域包括 支援セン ター運営事 業	1:優先的に 取り組み	介護者同士で、日ごろの介護にまつわる 苦労や疑問等を相談・話し合い、息抜きや ストレス解消、介護負担の軽減になるよう な場所づくり。	5:地域		毎月第二金曜日、職員の交代が発生した為、年8 回(9月～12月休止)の開催にとどまった。時間と 場所は8月までは地域の喫茶店カブカブで14時～ 15時に開催。 1月からはケアプラザ内で場所を変更して再ス タートした。	8	0	21	0
2	民生委員懇談会 (毎月)	平成22年度	7:共催(1と 2と3)	1:優先的に 取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の 情報交換・研修等実施による連携強 化。	5:地域		毎月第二金曜日に開催、お盆の時期と正月は休 止 民生・児童委員と地域交流CO、生活支援CO、包 括3職種、居宅、市営のLSA等で情報交換や研修 等を行う。旭区地区担当や区社協等が参加した。	10	0	135	0
3	認知症普及啓発「世界アルツ ハイマー月間」 (9月)	令和4年度	4:共催(1と 2)	1:優先的に 取り組み	アルツハイマーデーに合わせ、認知症に 関する知識の普及啓発を実施し、認知症 高齢者等への理解を得て、地域での見守 りが効果的になれるようになる。	5:地域	1	包括社会福祉士の交代(欠員時期)があり、開催 できなかったが、9月にエントランスでユマニ チュアのDVDを上映しケアプラザに来た方々に アツピールは行なった。	0	0	0	0
4	司法書士個別相談会	令和5年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	高齢期の相続、成年後見等の法律的門檀 に関して司法書士に個別に無料相談でき る機会を作る。	1:高齢者	5	包括社会福祉士の交代(欠員時期)があり、開催 できなかった。	0	0	0	0
5	熱中症予防出張講座	令和5年度	6:共催(2と 3)	2:発展させ るねらい	熱中症患者の増える夏季に向けて、地域 高齢者が実践できる予防策を周知するこ とで当事者意識を高め、正しい対処方法 を学ぶことにより熱中症罹患を予防する。	1:高齢者	5	包括職員の交代(欠員時期)があり、開催できな かった。	0	0	0	0
6	GoGo健康体操 (毎月)	令和5年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	介護予防普及強化事業として、講師によ る健康体操指導を年24回開催	1:高齢者	5	・毎月第4木曜日 地域の高齢者を対象に専門講師による体操指導 や講話を通して、参加者の介護予防・認知症予防 を図った。	14	0	299	0
7	GOGO健康体操 口腔ケア講 座(10月)	令和5年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得るこ とにより要支援・要介護状態になることを 予防する。	1:高齢者	5	・10月23日 舌の力をつけることにより、嚥下、誤飲予防効果 が上がるということで、現在の舌の力はどのぐら いなのか、数値化を行い、実感舌の力のアップの為 のトレーニング方法を指導いただいた。(想定受講 者数15名を予定していたが3名)	1	0	3	0
8	GOGO健康体操 栄養講座 (3月)	令和5年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食 事を摂ることにより要支援・要介護状態に なることを予防する。	1:高齢者	5	・3月26日 講義は旭中央総合病院の小池先生。 高血圧と減塩食についてのお話をさせていただ いた。 質疑応答でも活気のある会となった。	1	0	20	0
9	URハマトレ体操 (毎月)	平成25年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態にな ることを予防する。身近な場所で定期的に 体操することで筋力の低下を予防する。ま た顔見知りが増えることで、日常的に会話 が増えたりお互いの見守りへと繋がって いく。	1:高齢者	5	・毎月第4月曜日開催 毎月顔なじみの方達と体操を行うことで、地域の 絆が生まれている。安定歩行を促すためのハマト レ体操を行うことで、フレイル予防が行っている。	12	0	156	0
10	URハマトレ体力測定 (10月)	令和3年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態にな ることを予防する。身近な場所で定期的に 体操することで筋力の低下を予防する。ま た顔見知りが増えることで、日常的に会話 が増えたりお互いの見守りへと繋がって いく。	1:高齢者	5	・10月27日 筋力ばかりでなく反射神経や平衡感覚をチェッ クできる項目を加えることで多面的に身体の状態 を確認することが出来た。毎日取り組んでいるハマト レ以外の体操も紹介することで、運動への意欲を より高めてもらう機会となった。	1	0	13	0
11	URハマトレ体操 体操指導 (1月)	令和5年度	6:共催(2と 3)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態にな ることを予防する。身近な場所で定期的に 体操することで筋力の低下を予防する。ま た顔見知りが増えることで、日常的に会話 が増えたりお互いの見守りへと繋がって いく。	1:高齢者	5	・1月26日 講師の方は、明るい雰囲気で講義が進んでい った。一緒にやってみる内容となっており、和気あい あいと行えた。歩く姿勢を整えることの大切さ、良 い姿勢とはどのような形なのか、わかりやすく解説 していただけた。住民のかたも興味をもって参加し ていただけた。専門の先生の話はわかりやすく、 今後お願いしていくよいと考える。	1	0	19	0
12	ひだまり (毎月)	平成20年度	4:共催(1と 2)	1:優先的に 取り組み	地域の高齢者を対象にした介護予防サロ ン、健康講話、体操や合唱、脳トレを行 い、季節ごとの簡単な工作やゲストによ るプログラムを通して、外出・社会参加の 場とする。	1:高齢者	5	・毎月第2と第4水曜日 第2水曜日は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳 トレを行い、第4水曜日は健康体操とピアノ伴奏によ る合唱、脳トレを行った。	21	0	489	0
13	にこにこ会 (毎月)	平成18年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	精神障害の方の居場所作り	2:障害児・ 者	7	・毎月第4火曜日 会員同士で年間の計画をたて、スポーツや食事 会、外出プログラムを行った。また旭区地域生活 支援拠点ほっとぽっと「共に歩む市民の会」と情報 を共有を行った。	11	0	43	0
14	ひかりの会 (毎月)	平成18年度	1:地域活動 交流事業	2:発展させ るねらい	脳血管障害による言語障害の方のための 親睦サロン。	2:障害児・ 者	7	・毎月第4火曜日 今年度は担当職員がその都度代わったため、事 業の主旨が薄れる部分があり、再度趣旨を徹底し 言語リハビリを行うサロン活動として充実できるよ う整えた。	11	0	44	0
15	古典を学ぶ会 (毎月)	平成20年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少な い方が、日本の古典を読むことを通して、 日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し 合う場として提供する。	1:高齢者	5	・毎月第4木曜日 講師のご住職の方による、今年度は引続き数興 抄の講読などを行った。	8	0	50	0
16	囲碁教室 (毎月)	令和1年度	1:地域活動 交流事業	1:優先的に 取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域 の方の居場所作りを目指している。	2:障害児・ 者	1.5	・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日 外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方 などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲 碁を通して地域の方との交流の場所とすることが 出来た。またボランティアは福祉囲碁協会他地域 の方にも参加いただくことが出来た。	23	0	157	0
17	歌謡体操 (毎月)	平成25年度	1:地域活動 交流事業	2:発展させ るねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防 と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5:地域	1	・毎月第1第3月曜日 カラオケ機械DAMの歌謡体操を主に利用し、歌 いながら体を動かすプログラムを実施。ライブDA Mだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季 の歌)も取り入れて行った。	22	0	175	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
18	みんなの庭 (不定期)	平成26年度	5：共催（１と３）	2：発展させるねらい	園芸を通した世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。地域のあいさつ運動の一助となる活動。	5：地域		・6月13日・7月7日・11月25日・3月16日をメインにその前後準備作業を行った。 庭の作業を通じて地域の高齢者と園児が交流を深めることが出来た。ケアプラザへ招くだけでなく、ひかりが丘保育園からも招待を受けることで、交流回数が増え、子供たちが地域住民の名前を覚えるなど、顔の見える関係づくりにつながった。	10	0	73	0
19	楽しく健康！健康マージャン (毎月)	平成29年度	5：共催（１と３）	2：発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的とし、高齢者の居場所として開催。	1：高齢者		・第4金曜日 麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに來館されたことが無い、特に男性の方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして実施した。	24	0	296	0
20	シニアボランティアポイント登録 研修会	令和1年度	5：共催（１と３）	2：発展させるねらい	ボランティア人材発掘のため、高齢者に活動の意義を感じてもらい、地域内での担い手を増やす。	1：高齢者		・1月13日 ボランティアの希望者があった為、よこはまシニアボランティアポイント登録研修会を開催。	1	0	3	0
21	ゆるっとウォーキングの会 (毎月)	令和5年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりがちな男性などの外出のきっかけづくり。近隣の公園やウォーキングコースを散歩することで、季節の変化を意識しながら、健康維持のための体力向上をねらいとする。	1：高齢者		・毎月第2土曜日と計画していたが、暑い夏の時期と寒い冬の時期は、参加者と相談し活動を休止した。また春と秋も雨に見舞われる等して年間回数は3回にとどまった。 活動内容は、準備体操し近隣の公園等へウォーキングを行った。	3	0	40	0
22	歌うチャージング体操 (毎月)	令和5年度	4：共催（１と２）	2：発展させるねらい	上白根地区在住の講師による、高齢者向けの歌いながら行う高齢者のための運動『歌うチャージング体操』を開催することにより、新たな事業として地域に展開できるかをリサーチする。	1：高齢者		・毎月第2木曜日 NPO法人チャージングライフサポート協会所属の上白根地区在住の講師を招き、自分らしく生きる“いきいき健康長寿”を目指し『歌うチャージング体操』を地域の高齢者に体験していただいた。	12	0	242	0
23	メロディーカフェ (毎月)	令和5年度	1：高齢者	1：優先的に取り組み	ケアプラザで活動している音楽関係の団体に参加していただくことで活動の場を広げ、カブカブさんとのコラボレーションにより、障害のある方とも、高齢者の方とも、共生するあたたい地域の居場所づくりをおこなう。	1：高齢者	2,3,5	奇数月第1火曜日 上白根地区で活動しているボランティアによる音楽演奏を中心に時宜にかなったミニイベント形式で行った。またその中でおしゃべりの時間も設け交流の時間を取った。	4	0	64	0
24	ひかりが丘健康応援フェスタ (11月)	令和5年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域内の福祉施設と共同で事業を開催することで連携を深めると同時に、地域住民と施設とのつながりを育む。	6：事業者		・11月16日 企画段階から施設スタッフに参加いただき、地域貢献の行事として体操教室や健康講座等のプログラムを開催し大盛況であった。	1	0	71	0
25	食品衛生講習会	令和1年度	5：共催（１と３）	1：優先的に取り組み	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解していただく。	5：地域		・7月16日 日頃から高齢者食事サービスなどで食事提供のボランティアをされている方に、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。	1	0	7	0
26	認知症サポーター養成講座	平成17年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	認知症への理解を深め、関係機関と連携しながら地域で支える体制を整える。	5：地域		1 今年度は職員の欠員や異動に伴い、実施できなかった。	0	0	0	0
27	貸館団体登録説明会	令和5年度	5：共催（１と３）	1：優先的に取り組み	ケアプラザ貸館利用登録の方法と留意点に置いての注意点・留意点を利用団体に理解してもらう。	1：高齢者		5 今年度は地域交流CO職員の欠員や異動に伴い、実施できなかった。	0	0	0	0
28	ボランティア交流会 (2月)	令和4年度	7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組み	ボランティアの育成、介護予防普及強化、ボランティア間の交流	5：地域		1 3月8日 ケアプラザやその他のボランティア活動をされた方への紹介及び報告を行った。またグループワーク(ゲーム)を行い、ボランティア同士の交流の場とした。	1	0	29	0
29	モルック体験会	令和6年度	3：生活支援体制整備事業	2：優先的に取り組み	モルックのゲームを通じて、地域の高齢者に運動と交流の場を提供するとともに、児童と一緒に遊ぶことで世代を超えた関係づくりにつなげる。	1：高齢者		4 11月25日 自治会、保健活動推進員、スポーツ活動推進委員、放課後キッズクラブ等、地域内の住民の方とモルックゲームを体験してもらった。	1	0	35	0
30	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5：地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・普及啓発グッズ配布 ・第5期旭区地域福祉保健計画区民意見募集の周知 ・10月19日(日)開催	1	0	700	0
31	GOGO健康体操 健康講座 (12月)	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	住民からの医療相談で頻出する『逆流性食道炎』について旭中央総合病院の外科医師に講義してもらい、予防方法や治療方法についての知識を普及させる。	1：高齢者		5 12月25日 GOGO健康体操に続けて講座をおこなうことで集客が期待したが、宣伝不足、準備不足で多くの方の参加にはならなかった。	1	0	3	0
32	URハマトレ 健康講座 (7月)	令和7年度	6：共催（２と３）	1：優先的に取り組み	住民からの医療相談で頻出する『便秘』について旭中央総合病院の外科医師に講義してもらい、予防方法や対処方法についての知識を普及させる。	1：高齢者		5 7月28日 URハマトレ体操の時間で講座を実施。URハマトレの主催者である保健活動推進員より講座の依頼があり、本講座を包括の方で選定し保健活動推進員より承得を行った。	1	0	10	0
33	世代間交流(歌と体操)	令和7年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者と近隣の保育園児が歌や体操を通じて世代間の交流を行い、あいさつを合える関係づくりへとつなげる。	1：高齢者		5 5月27日・6月24日・9月30日・11月25日・12月22日 地域住民のサロンやデイサービスに近隣の施設から園児を招いて、歌や踊りを披露してもらうながら交流を行った。	5	0	85	0
34	支えあい連絡会	平成16年度	5：共催（１と３）	1：優先的に取り組み	地福の取り組み推進のために、地域の代表が集まり、日頃の活動の情報交換等を行う。	5：地域		6 5月7日・7月16日・9月17日・11月26日・2月20日 委員の活動報告と部会の活動報告を中心に地福の活動について意識の共有をはかった。	5	0	111	0
35	地福目標別3委員会	令和5年度	5：共催（１と３）	1：優先的に取り組み	地福の取り組みを具体的に検討するための協議体。	5：地域		6 7月の支えあい連絡会前に 地福の3つの目標別に3つの委員会(あいさつ、見守り、防災)にて話し合いを行い、その報告を支え合い連絡会にて行った。	4	0	34	0

■ 事業			■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）				7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
36	支えあい連絡会 コア会議	平成16年度	5：共催（1と3）	1：優先的に 取り組み	支えあい連絡会の主要メンバーが集まり、会の運営や地福計画策定、取り組みの振り返り等を行う。	5：地域		・4月9日・6月2日・8月8日・9月5日・10月5日・11月5日・12月14日・2月8日と支えあい連絡会前にコア会議を行った。 支えあい連絡会開催前に、議題の検討や会議資料の準備等を行うために集まって準備を行った。	12	0	60	0
37	地域交流イベント(モルック)	令和7年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に 取り組み	地域の高齢者、障がい者、児童がゲームを通して交流する機会をつくることで、地域の中であいさつをし合える関係づくりにつなげる。	5：地域	2	・5月22日 四季の森小学校キッズクラブ、しらねの里・げんき、地域のモルックサークル、青少年指導員等と連携し、モルックのゲーム大会を開催。様々な属性の住民同士が親睦を深める機会となった。	1	0	40	0
38	施設懇談会	令和7年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に 取り組み	地域内の福祉施設同士が定期的に情報交換を行うことで連携を強め、地域貢献活動について検討を行う。	6：事業者		・隔月第1水曜日 高齢、障害分野の施設スタッフが隔月で懇談する機会を設け、地域貢献活動に向けて協力体制をつくると共に、11月に行われた、ひかりが丘健康フェスタの準備を行った。	5	0	39	0
39	お菓子の部屋 ～手作りおやつを楽しむ会～	令和7年度	1：地域活動交流事業	2：発展させる ねらい	お菓子を作りながら、地域の方との交流を図る。普段なかなか出会えない方同士が顔見知りになり、安心して暮らせる地域づくりにつながるよう活動を目指す。	5：地域		・隔月第2火曜日 お菓子作りの自主事業は以前から住民より要望が多く、今年度から始めた次第、好評であり来年度からは毎月開催に変更予定。	5	0	25	0
40	みんなの健康講座	令和7年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させる ねらい	地域住民へ疾病予防の知識を提供することで、健康への意識向上を図る	5：地域		・1月21日 横浜市新緑病院と連携し、専門医によるヘルニア予防講座と個別の健康相談を実施。参加者の理解の範囲を超える部分もあったが、個別相談には3名が希望するなど地域のニーズはあるようだった。	1	0	26	0
41	脳の健康セミナー	令和7年度	4：共催（1と2）	2：発展させる ねらい	「脳の健康」に関心のある方々が、学び、日常生活を見直すきっかけとなる場を提供します。専門的な知識をやさしく伝えることで、誰もが自分らしく年齢を重ねている地域づくりに貢献します。	5：地域	1	公文の学習療法センター、庄司様による、認知症予防やフレイル予防のお話し、脳に関する基礎知識や、日常生活の中で脳を活性化するための具体的な方法の紹介と体験。	1	0	18	0
42	四季の森小学校2年生総合学習	令和7年度	5：共催（1と3）	2：発展させる ねらい	四季の森小学校2年生の総合学習課題まちたんけん授業を通して、ケアプラザの働きを紹介し、地域活動について、子供たちと考える。この事業を通して、小学生、小学校と共に地域共生社会へ向けての基盤を作る。	5：地域		・11月26日・12月1日・12月17日・1月28日 四季の森小学校2年生のまちたんけん授業近隣の施設へ協力を依頼することで、地域内での新たなつながりが生まれた。行事としては盛況だった一方、児童が異なる属性や共生について考える機会として、より良いプログラムに発展させる余地がまだ残っているので、今後も検討を続ける。	4	0	160	0
43	GOGO健康体操 口腔ケア講座 （ハギハラ歯科）	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	5：地域		・5月28日 GOGO健康体操に続けて口腔ケア講座をおこなうことで集客が出来た。 『あいうべ体操』、『ガムトレーニング』、入歯の帰るタイミングなどの説明をいただいた。	1	0	13	0
44	GOGO健康体操 栄養講座 （キュービー）	令和7年度	6：共催（2と3）	1：優先的に 取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	5：地域		・6月26日 GOGO健康体操の教室に続けて栄養教室を行う事で集客出来た。キュービー栄養士より、噛むことの重要性や適塩の必要性の節目を受けた。	1	0	20	0
45	LSAお茶のみサロン 『かくれ脱水』講演会	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	2：発展させる ねらい	LSAサロンを活用している方に介護予防に必要な知識の普及と事業の周知を図る	1：高齢者		・2月3日 冬にも意外と起こりやすいとされている「かくれ脱水」をテーマに包括看護師が講師となり講演を行った。	1	0	19	0
46	協力医との相談会	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に 取り組み	地域住民の医療的相談に対する専門的な見地から助言をもらい、総合相談や個別支援の質の向上を図る。地域住民が健康・病気について抱えている不安を相談できる機械づくりと健康状態の安定を図る。テーマ別の座談会を開催し、事業者、地域住民、協力医で連携できる関係づくりを行う。	5：地域		毎月第2第4水曜日 事業者、地域住民の相談会を奇数・偶数月で分け、住民向け相談会は3名の予約制とし、1名20分ほどの時間設定を設けて行った。	10	0	43	0